

47都道府県プロフィール  
2024年1月～2024年06月

# 埼玉県

# 外国人技能実習生に防犯指導 埼玉・川口市

2024/06/23

埼玉県内で外国人が最も多く住む川口市で、埼玉県警が外国人の技能実習生の寮を対象に防犯指導などを行いました。埼玉県警は23日、県内で外国人が最も多く住む川口市の外国人技能実習生の寮を巡回し、この寮に住むベトナム人や中国人に通訳を介して防犯指導などを行いました。防犯指導では、警察官がSNSなどを通じて「闇バイト」に加担しないよう注意点をまとめたチラシを配布するなどして、犯罪に巻き込まれないよう呼びかけました。埼玉県警は「在留外国人が犯罪に巻き込まれたり、関与したりすることがないように、引き続き、在留外国人を含む県民の安心安全を確保していきたい」としています。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/28b3741fa5415cc0145cbe7db4f53781681490a>

# 外国人労働者初の10万人超え…技能実習生再び増加

2024/01/30

埼玉県内で働く外国人労働者数が、昨年10月末時点で過去最多の10万3515人（前年同期比11・4%増）となり、初めて10万人を超えた。埼玉労働局が発表した。国内で人手不足が深刻化していることが背景にある。コロナ禍で受け入れが滞った技能実習生が再び増えたことも影響したとみられる。



# 埼玉県に住んでいる外国人が増加！ 全国で第5位の人気！ 日本一外国人が多い街も埼玉に？！

2024

川口市に過去10年間で、外国籍の住民は1.8倍に増加し、2023年4月1日現在、世界104の国・地域からの4万124人（市の総人口の約6.6%）が居住しています。新型コロナウイルスの流行により、多くの外国人が日本を離れましたが、川口市では逆にその数が増加しました。法務省の在留外国人統計によると、2020年に東京都の新宿区、江戸川区を抜いて、全国の区市町村で最多となりました都道府県別の在留外国人数（令和5年6月末現在）を見ると、埼玉県の在留外国人数は第5位であることがわかります。人気の高い順に、東京都、愛知県、大阪府、神奈川県、埼玉県となっています。



<https://guidablejobs.jp/contents/how-to-recruit/5760/>

## ＜独自＞川口クルド人「子供率」 20%で突出 家族帯同で難民申請、出

### 産で事実上の移民化

2024/05/16

埼玉県川口市が、トルコの少数民族クルド人ら  
在留資格を持たない外国人子弟への就学援助費  
を国に求めている問題で、同市内に住むクルド  
人全体のうち小中学生が約20%を占め、他国  
出身者の割合に比べて突出して高いことが、1  
6日わかった。「家族帯同」で難民申請したり、  
国内で出産したりしたケースもあるとみられる。  
市内のクルド人の小中学生が推計約400人と  
みられることも判明。これまで市はクルド人や  
その家族の実数など詳細を把握していなかった  
が、今回、国に提出した要望書を作成する中で  
初めて明らかになった。



<https://www.sankei.com/article/20240516-3RXDN3JSTBJF3FP2JWVORDO7CA/>

47都道府県プロフィール  
2024年07月～2024年12月

# 埼玉県

## 荒川河川敷にベトナム人1500人熱気 サッカー大会、警察もブース

2024/07 /19

「モ・ハイ・バー！（1、2、3）」。ユニホーム姿の若者たちが円陣を組んで、氣勢を上げた。4月上旬、さいたま市西部を流れる荒川の河川敷グラウンドであったベトナム人らのサッカー大会「FAVIJA KANTO CUP 2024」のキックオフだ。集まったのは関東地区に住む留学生や技能実習生、特定技能などの在留資格で働く在日ベトナム人ら約1500人。日差しが照りつけ汗ばむ陽気のなか、職場の仲間や同郷者でつくった40チームが賞金と全国大会への切符をかけて競い合った。



日本在住ベトナム人らのサッカー大会「FAVIJA CUP」でボールを奪い合う選手ら＝2024年4月7日、さいたま市桜区、内日光撮影

[荒川河川敷にベトナム人1500人熱気 サッカー大会、警察もブース](#) [東京都]：朝日新聞

# Best Stage、技能実習生を棟梁へ育成

2024/07/27

年間46棟507戸の賃貸住宅を建築するBest Stage(ベストステージ:埼玉県富士見市)は、技能実習生から棟梁(とうりょう)を育成するプロジェクトを推進する。大工の内製化を図り、建築請負工事の受注を増やす狙いだ。技能実習生は7月末時点で6人。9月には3期生として新たに2人を迎え入れる予定だ。同社は2024年7月期、約60億円の売り上げを見込む。このうち8割はランドセット販売で、同社が仕入れた土地に建築する方法をとる。残りの2割弱は建築請負工事だ。



# ★“ベトナム人の心の拠り所”大恩寺をご紹介！

2024/11 /18

埼玉県と群馬県の県境に位置する本庄市には、日本で暮らすベトナム人技能実習生や留学生が心の拠り所にするベトナム仏教寺・大恩寺があります。大恩寺は、元々、宗教法人御嶽教児玉三太氣(おんたけきょう・こだまみたけ)教会の住職が、加齢などの理由で寺院を手放そうとしていたところ、東京都港区のお寺で東日本大震災で被災したベトナム人の受け入れボランティアなどを行っていたタム・チー住職が譲り受け、大恩寺を開山しました。

